



3学期、冬休みが終わり久しぶりのつき組での生活がスタートしました。子どもたちは寒さに負けず、戸外では鬼ごっこや縄遊びなど元気いっぱいに遊ぶ姿見られています。室内では、お話の世界にイメージを広げたり、楽器遊びをする中で、いろいろな楽器の音やリズムに興味をもって、クラスの友達と一緒に考えたり、悩んだり、相談したりしながら遊びを深めています。

鏡開きをしました

12月にみんなでした、もちつきでつくった鏡もちをつき組・そら組で鏡開きました。

鏡餅に付いている橙や干し柿など、それぞれの名前や意味を知らせると、子どもたちも興味津々で聞いていました。最後には、一人ずつ今年一年の健康を願って木槌でお餅を開きました。

こうした日本の行事を経験する機会を大切にしていきたいです。



「エルマーの冒険」ごっこ遊びから劇遊びへと変化してきました

2学期から親しんできた「エルマーの冒険」のお話を3学期も引き続き楽しんでいます。お話に出てくる登場人物になって遊ぶ中で、怖いトラになりきっている友達を見つけ、「目が怖くて本物みたいやった！」と、少しずつ役になりきって遊ぶことを楽しむようになりました。そうした中で、子ども同士で役を分けてやりとりをするようになり、いろいろな言葉(セリフ)が出てきて、お話が進んでいく楽しさを味わっていたようです。ある日、「いっぱいサイがおってなんか分かりにくかった…」という子どもたちからの言葉に、みんなで役を分けてやってみよう！という意見がでました。

最初はそれぞれの場面で遊ぶことを楽しんでいましたが、「まだライオン出てきてないよ？」「続きがしたい！」とそれぞれの場面遊びが少しずつつながっていき、劇遊びへと変わっていきました。自分たちで考えながらつくる劇あそびをとっても楽しむいる子どもたちです。



みんなで合奏を考えながら進めています

♪勇気100%の曲が流れると大合唱していた子どもたち。3学期はその大好きな曲で楽器遊びを楽しんでいます。最初は好きなところで好きな楽器を思い思いに鳴らしていましたが、「ちょっとうるさい」「分けてやった方がきれいに聞こえる」という子どもたちからの提案で、みんなで楽器を鳴らすところやリズムを考えました。考えたものを実際にやってみると、難しいこともありましたが、その都度相談しながら楽器遊びを楽しみました。みんなで気持ちを合わせて鳴らしてみると、思わず「おおー！」と驚きの声も出ていました。自分だけでなく、友達の音を聞いて気持ちを合わせていく心地よさや楽しさを感じてほしいと願っています。



キッズプラザに遠足に行きました

キッズプラザの遠足では、ぱんだ組さんの手をつないで、お兄さん・お姉さんとして頑張ってくれていたつき組さん。道路や駅の階段など、内側や手すり側をぱんだ組さんに歩かせてあげ、気にかけたり優しい言葉をかけたりしていました。現地では目一杯遊びを楽しんでいました！

